



神社小学校

教育研究プロジェクト委託事業

〔社会科副読本の活用に係る実践研究〕

社会科 『神社港のむかしと今』 公開授業研究会

12月11日(金)神社小学校にて、Zoomを利用し、**オンライン形式**での公開授業研究会が開催されました。今回は、事前に授業の様子をビデオ撮りし、参加者に一定期間録画配信をしました。その公開された授業の様子を見た上で、参加者はリモートで研究協議に参加するという形で開催されました。

参宮客などで賑わっていた昔の神社港とその賑わいが見られなくなった今の神社港を比べ、子どもたちの疑問や気づきをもとに、神社港の移り変わりを学んでいく授業となりました！今後は、地域を昔からよく知る方や活性化しようとする方々との出会いを通して、地域の未来を考え、地域への愛着を深める学習に繋げていきます。



教材に何をを選ぶか、それをどう組み立てるか！
アクティブラーニングとなっているか！
大切にしたい、授業記録と振り返り・・・



教材研究の段階からこのプロジェクトに関わっていただいている助言者の西先生からは、「教材は、何をを選ぶか、それをどう組み立てるかがポイントである。子どもは、敏感に感じている。」「授業が、アクティブになっているかどうか見ていく必要がある。わかればわかるほど、わからないことが増えてくのがアクティブな活動。授業と授業の間が大事。何かわからないことがあることで落ち着かんあと思わせて、次の時間につなげていく。」「アクティブラーニングになっているかどうかは、授業記録をとってみる。そうすると、新しいことがわかってくる。」等のご助言をいただきました！

参加者の感想より

- 昔の絵は子どもたちの関心を引き出すとともに、多角的に資料を読み取っていた。
- 単元全体で町の変遷に関する年表も扱われて昔の絵や写真と有機的に結びついていたように思う。
- 子どもたちも自分たちの住んでいる身近な地域に関心を持つことができ、体験を通して主体的に取り組むことができていた。
- 教師が地域を調べ教材化していくことの**ねうち**を改めて教えていただきました。
- 昔と今を比較する表は、子どもたちが見学を通して実感しているものであり、みんなが同じ土台に乗って授業参加ができて(子どもたちの顔があがった)たいへん有効だったと思いました。
- 資料の積み重ねがこれから大切になっていくことがわかりました。学校でどのように資料を集めていくか、そして残していくかを考えていく必要があると感じました。

to be continued...

今日的課題に係る実践研究 音楽科

『音や音楽と豊かに関わり、
表現する楽しさを生活の中に生かせる音楽教育をめざして
～主体的に表現し、
協働しながら学びあう音楽活動を通して～』



研究委託校 : 中島小学校
授業動画配信期間 : 令和3年1月14日(木)～21日(木)
研究協議会 : 令和3年1月21日(木)
※事前に動画を見て参加する。



NEW

プログラミング教育教材の紹介



新しく、アンラグドプログラミング教材『給食の時間の準備』ができました！
自分たちで給食の準備をする方法を覚えていく小学校1年生にはピッタリの教材です。研究所では、他にも下記のプログラミング教材をご用意しています。ご活用ください。なお、人気教材もございますので、早目にご予約ください。

アンラグド : パソコンを使わないプログラミング教育

(積み木の積み方・カメの脱出・掃除の仕事・面積の求め方・ゆで卵の作り方)

ラグド : パソコン等を使ったプログラミング教育

(ロボットカー・信号機・豆電球・スクラッチ・ビスケット・アワーオブコード)

先日行われた
授業風景だよ。



実は・・・教育研究所から貸し出している『プログラミング教材』のほとんどは、ICTアドバイザーやICT支援員さんたちによる手作りです。接着剤やハンダゴテ、ミシンなどが活躍します。形あるものは壊れるもの…修理やメンテナンスをはじめ、ひとつひとつ思いを込めて、作成・修復に取り組んでいます。

